

中村澄子著「新 TOEIC テストスコアアップ 135 のヒント」

詳伝社黄金文庫 2010年3月20日刊を読む

1. 勉強には手を動かす作業を取り入れる

(1) 覚えたい単語やフレーズに出会ったら、また、わからない文法事項が出てきたら、それを読むだけで済ませずに、自分の手でノートなどに書き写すようにしてください。

問題集や自分の学習用ノートを使って勉強する際も、どんどん本やノートに書き込んだり、大事だと思ったところや何度も間違えてしまうところに線を引いたり、関連する文法事項の説明が載っているほかの本のコピーを貼ったり、など、自分の手を動かす作業を取り入れるようにしてください。

(2) 単語や文法ポイントの整理にパソコンを使っている人も多いかと思いますが、できればパソコンの画面上だけで作業を完結させず、あえて手作業の部分を入れてみましょう。記憶への残り方が格段に違ってくるはずです。

(3) 「目で追うだけで十分」という意見の人もいますが、単語や文章を目で追うだけでは「答え」を覚えることになってしまい、問題のポイントを覚える、理解することにはならない場合が多いようです。

すると、応用問題として少し出題形式が変わると、とたんに対応できなくなってしまいます。

P.65

2. ノート作成時間は勉強時間に含まない

(1) 自分で勉強しやすくするために、ていねいすぎるノートや切り貼りを作る人は多いです。ノートの作成自体はいいことですが、かなりの時間を要する作業であれば再考が必要かもしれません。

(2) 資料の大事な部分だけを切り貼りしてクリップでまとめる、ノートを作らず重要な問題のコピーをして直接書き込むなど、工夫しましょう。たまに、ノート作成に勉強時間の半分を取ってしまっていてその時間も勉強をした気になっている人がいますが、ノート作成時間は勉強時間からはずし、一日の所要勉強時間は別に確保しましょう。忙しいためにきれいなノートを作らず、裏紙の走り書きの束を持っていてそれで高得点を出した人もいます。忙しいビジネスパーソンにとって時間は貴重です。時間は上手に使いましょう。

P.66

3 . 一度間違える問題はたびたび間違える

(1) 不思議なことに、一度間違えた問題は何度出てきてもなかなかできないもの。

つまり、つまづく問題というのは意外に毎回同じなのです。

たびたび間違える問題、頭に入りにくいものは、いくら眺めていても、漫然と解いていても、簡単には覚えられません。

問題をまるごと書き出す、問題集の解説に辞書や文法書で調べた自分なりのポイントを書き加える、といった工夫が必要になります。

自分流のノート、「頻出問題カード」「頻出ポイントカード」などを作るのもいいでしょう。

(2) 私の教室の生徒さんで、特に短期間で点数を上げる人は、いろいろと工夫して自己流のノートを作り、それを活用している人が多いようです。

P.68

[コメント]

書き取り練習による定着、ノートの整理・活用方法、間違えた問題の処理方法など学校の勉強も、入試も、TOEIC の受験も全く変わらない。勉強の仕方の基本を中村澄子先生はよく教えて下さる。

- 2010年3月1日 林明夫記 -